

令和6年度 授業改善推進プランのねらい

昭島市立拝島第三小学校

・児童の興味・関心を高め、理解を深めることにより各教科のねらいを達成し、学力向上を図る。

授業改善推進プランのポイント

・基礎的・基本的な内容の定着 ・問題解決の過程を重視し、資質・能力を高める授業 ・ICT機器の有効活用

授業改善推進プラン 各学年の取り組み(学年にあった教科のねらいを達成するために)

	国語		算数	
1年	<p>【単元名】 1学期「うみのかくれんぼ」説明文 2学期「じどう車くらべ」説明文 3学期「いいこといっぱい1年生」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①音読や漢字の指導に重点を置く。漢字は短文作りなどを通して、文章の中で使えるようにする。 ②話型などを示して、話すこと・聞くことの指導を充実させる。 ③ICTで挿絵を提示したり、くじらニングの演習を個別に取り組みせたりする。 ④読み聞かせなどを行い、読書活動の充実を図る。 ⑤観察や経験したこと、感想など書く活動を日常的に取り入れる。 ⑥語彙を増やすために、ことわざの暗唱やカルタに取り組む。 ⑦朝の学習タイムにわたかなの練習を毎日実施し、習熟を図る。</p>		<p>【単元名】 1学期「あわせていくつふるといくつ」 2学期「たしざん」「ひきざん」 3学期「たしざんとひきざん」</p> <p>【具体的な方策】 ①ICTを使って視覚的に分かりやすく提示する。 ②算数ブロックやカードなどの具体物や半具体物を使った操作活動をよく行い、反復練習することで計算力に つながる。 ③学習の導入時に、課題をもって自分で解き、発表し合う問題解決型の授業を行う。→どんな時？ ④ノートの書き方を手本を示して指導する。 ⑤授業開始時、計算問題に取り組む。 ⑥タブレットを活用し、くじらニングの演習を個別に取り組ませる。</p>	
2年	<p>【単元名】 1学期「スイミー」物語文 2学期「お手紙」物語文「馬のおもちゃの作り方」説明文 3学期「スーホの白い馬」物語文 通年 漢字学習・ことばの学習・日記</p> <p>【具体的な方策】 ①時間的な順序や、事柄の順序を表す言葉を見つけ、出来事の内容をつかめるようにする。 ②考えが伝わるように説明する順序を考えたし、感想を短い文で書いたりできるようにする。 ③日々の漢字学習の際に、漢字の成り立ちや意味を考え、学習した漢字を使った言葉集め、文作りを通して、語彙を増やす。 ④デジタル教科書を効果的に活用する。</p>		<p>【単元名】 1学期「たし算のひっ算」「ひき算のひっ算」「時とくどと時間」 2学期「長方形と正方形」「かけ算」 3学期「4けたの数」「箱の形」「分数」</p> <p>【具体的な方策】 ①基礎基本の定着のために、毎日家庭学習の課題に出す。復習をしながら、繰り返し計算練習に取り組めるよ うにする。 ②図形や数量関係の領域では、30cmものさしや直角三角形などの具体物を使用する。デジタル教科書を活用 し、視覚的にイメージがしやすいうようにすることで理解を深める。 ③日常生活との関連を示し、児童自ら活動する機会を多く取り入れる。 ④タブレットを活用し、くじらニングの演習を個別に取り組ませる。</p>	
	国語	社会	算数	理科
3年	<p>【単元名】 1学期「こまを楽しむ」説明文 2学期「いちちゃんのかずおくり」物語文 3学期「これがわたしのお気に入り」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①漢字については、家庭学習を活用し繰り返しの練習をする。 ②分からない言葉や自分で調べようの習慣を付けるために、辞書引きの学習を継続する。 ③朝学習の時間をつけて、漢字の定着を図る。 ④読書の習慣については、図書の時間や読書週間、朝読書を通して身に付けさせる。 ⑤ローマ字は、タブレットを活用し、通年で取り組む。 ⑥調べたことや自分の考え、感じたことを書く取り組みを継続的に行う。</p>	<p>【単元名】 1学期「わたしたちの昭島はっけん」 2学期「わたしたちのくらししごと」 3学期「くらしのうつりかわり」</p> <p>【具体的な方策】 ①タブレットで撮影した写真を大型テレビ等で提示し視 覚的な支援を行う。 ②地図記号の小テストやかるたを使って、定着を図る。 ③資料やグラフの読み取りを丁寧に指導する。 ④ノート指導の充実を図る。 ⑤調べ学習・見学を通して、分かった情報を選んだり 整理したりしてまとめる力を付けたい。</p>	<p>【単元名】 1学期「あまりのあるわり算」 2学期「円と球」 3学期「三角形と角」</p> <p>【具体的な方策】 ①図や式や言葉で考えたことを表出させ、それらを説 明させ、集団で学び合わせることで、表現の多様さや 豊かな数量感覚を育てる。 ②半具体物やデジタル教科書、ICT機器を活用するこ とで、視覚的に理解できるようにし、多様な数の見方 や、図形への理解を高める。 ③生活と関連した問題場面を設定し、生活に生かそう という態度を育成する。 ④小数は0.1をもとにして計算するなど小数や分数の 構成を理解させる。</p>	<p>【単元名】 1学期「風やゴムで動かそう」 2学期「物の重さを比べよう」 3学期「明かりをつけよう」</p> <p>①事象提示を工夫し、みんなで問題を作る基礎を育て る。実験や観察の前に予想をたてるようにする。 ②実験の際には、子どもの予想したことができる限り確 かもたり調べたりできるように教材を確保する。 ③電気や磁石の学習では、各自が実験できるように教 材を準備し、さらなる知識や技能の定着を図る。 ④観察の時には、方位磁針や虫眼鏡などを各自使用す る。 ⑤電気の通るものと磁石のつくものを、対比させながら まとめ、学習の定着をはかる。 ⑥タブレットを活用して、植物の観察や実験の映像を 見ることのできる知識や技能の定着を図る。</p>
4年	<p>【単元名】 1学期「新聞をつくろう」書く 2学期「ごんぎつね」物語文 3学期「もしものときにそなえよう」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①国語辞典やタブレットを利用し、単元の初めに意味 調べを行い、分かったことをノートに記録する。 ②物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登 場人物に対して、または筆者の考えに対して自分の 考えを書き機会を意図的に増やす。 ③授業で学校図書館を活用したり、朝学習などに読書 活動をしたりに読書の機会を増やす。 ④漢字テストなどの学習活動を通して、単語ではなく文 章を書かせることにより新出漢字や新しい言語の取得 を目指す。 ⑤調べてわかったことを記録する経験を増やす。調べ て分かったことを整理して自分で考えたことを伝えら れるようにする。</p>	<p>【単元名】 1学期「安全なくらし」「住みよくらし」 2学期「郷土の発展につくす」 3学期「わたしたちの東京都」</p> <p>【具体的な方策】 ①都道府県について、年間を通してミニテストやカル タ、音読などを用いて指導し覚えさせる。 ②学習する場所や施設について、タブレットを活用して 調べた、動画を見たりして分かったことを記録する活 動を風増やす。 ③単元の学習課題を明らかにし、児童の問題意識を高 めてから、インターネットや資料等から必要な記事や データを収集させる。それを基にして、自分の言葉でま とめ、記録することができるようにする。 ④教科書の資料から分かったことと、授業のねらいとを 結び付けて考え、東京都に貢献してきた人々の思いや 願いをノートにまとめる。</p>	<p>【単元名】 1学期「角の大きさ」 2学期「わり算のひっ算(2)」「倍の見方」 3学期「小数のかけ算とわり算」</p> <p>【具体的な方策】 ①定義や性質について、具体物やデジタル教科書を 活用し、視覚的に理解させ、理解したことを言語化さ せる活動を繰り返し、図形や数量についての概念形成 を図る。 ②学習したことを具体的な生活場面と関連させ、実感 を伴って理解させる。 ③課題を自力解決し、図や式や言葉で表出させ、集団 で学び合わせることで、表現の多様さや思考力・判断 力を育てる。 ④本時の課題、答えを出すまでの過程、答え、本時の まとめなど、毎時間ノートに書くことを繰り返すことによ り、学習のより一層の定着を目指す。 ⑤くじらニングを活用して既習事項をくり返し復習し、 基礎基本を定着させる。</p>	<p>【単元名】 1学期「夏の星」 2学期「月や星の見え方」 3学期「冬の星・水のすがたと温度」</p> <p>①星座など学校で観察できないものは、各自の観察結 果をみんなで確認し、全体で正しく理解させる。映像 を活用し理解を深めさせる。 ②実験の技能として、理科実験ガソコンロの正しい使 い方を安全に行わせる。また、検流計の使い方、読み 取り方も実験を通して、定着させる。 ③調べたいことの問題を作り、予想・仮説を立てて問題 解決することにより論理的思考力を養う。 ④問題解決の過程「予想、方法、実験、結果から分か ること」をまとめる指導をしていく。 ⑤電気の通るものと磁石のつくものについては繰り返 し、学習の定着を図る。 ⑥実験や観察などの体験をできるだけ一人一人がで きるようしたり、見えない物を扱う実験では可視化したり する工夫をして、実験結果や自分の考えを書きやすく する支援を行う。</p>
5年	<p>【単元名】 1学期「みんなが過ごしやすい町へ」書く 2学期「グラフや表を用いて書く」書く 3学期「大迫いさんとガン」物語文</p> <p>【具体的な方策】 ①文章構成図を使って全体を一覧できたり、振り返 ったときに学習内容が一目で分かったりできるノートの 取り方を指導する。 ②国語辞典やタブレットを利用し、言葉の意味の理解 を深め、語彙を増やす指導をする。 ③物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登 場人物の気持ちや筆者の考えに対して自分の 考えを書き機会を増やす。 ④テーマに沿って自分の考えを書いたり、様々な文章 を読んで自分の考えを書く活動をする。</p>	<p>【単元名】 1学期「日本の国土とわたしたちのくらし」 2学期「未来をつくり出す工業生産」 3学期「国土の自然とともに生きる」</p> <p>【具体的な方策】 ①大型モニターやタブレットなどを活用し、イメージも たせ、資料の比較や変化を理解できるように、視覚的 に分かりやすく提示する。 ②資料やグラフの読み取り方を丁寧に教え、問題解決 の場面を多く取り入れる。 ③グループ学習を取り入れ、互いの意見を交流する場 面を多くとり、児童相互の関わりを大切にす。 ④授業で扱う地名等は、地図で確認し都道府県につ いても定期的に復習できるようにする。</p>	<p>【単元名】 1学期「合同な図形」 2学期「単位量当たりの大きさ」 3学期「割合」</p> <p>【具体的な方策】 ①デジタル教科書を活用し、視覚的に理解させ、理解 したことを言語化させる活動を繰り返し、図形や数量に ついての概念形成を図る。 ②図や式や言葉で考えたことを表出させ、集団で学び 合わせることで、表現の多様さや思考力を育てる。 ③乗法や除法の立式をし、式の意味を説明したりす る際には数直線の図を活用させる。段階的に数直線 のかき方・見方を身に付けさせる。 ④くじらニングやドリル等で繰り返し復習することで、 基礎基本を定着させていく。</p>	<p>【単元名】 1学期「魚のたんじょう」 2学期「月のたんじょう」 3学期「もののとけ方」</p> <p>①メダカの誕生や天気の変化、人の誕生の単元では、 一人一匹の稚魚を育て、理解を深めていく。卵の成長 や雲の動きなどは、できるだけ子供に観察させ、絵や 文などの方法で記録させる。 ②導入に具体物を提示し、自然の事物や現象に目を 向けさせ、クラスで条件を整理する時間を確保するこ とで正しく実験が行えるようにさせる。 ③予想に理由をつけたら、結果から分かることを自分 の言葉で書かせたりすることで、子供たちの科学的思 考を高めていく。また、子供同士で考えを交流させてい く。</p>
6年	<p>【単元名】 1学期「時計の時間と心の時間」説明文 2学期「みんな楽しく過ごするために」話す・聞く 3学期「思い出を言葉に」書く</p> <p>【具体的な方策】 ①物語文や説明文の読み取りを行った後、物語の登 場人物の気持ちや筆者の考えに対して自分の考えを 書く活動をする。 ②文章の構成を考え、必要な情報を関連づけながら理 由を明確にして書けるようにする。 ③友達と意見を交流することを通して、自分の考えと比 較し、自分の考えを深めていくようにする。 ④漢字テストなどの学習活動を通して、文章を書かせる ことにより新出漢字や同音異義語など、言語の取得 を目指す</p>	<p>【単元名】 1学期「わたしたちの暮らしを支える政治」 2学期「全国統一への動き」 3学期「平和や豊かな暮らしを目指して」</p> <p>【具体的な方策】 ①調べ学習を通し、教科書、資料集、インターネットな ど、課題に応じて適切に情報収集をする手段を選択す る基礎的・基本的能力を育てる。 ②資料を比較したり、関連付けたりして共通点や相違 点に気付かせ、思考力を高める。 ③毎時間、課題を明確にする。学習のまとめでは単元 の学習問題に対する自分の考えを書かせる。 ④調べ学習、資料作成、話し合い活動でICT機器を活 用し、思考力・判断力を高める。</p>	<p>【単元名】 1学期「比」 2学期「拡大図と縮図」 3学期「6年間の復習」</p> <p>【具体的な方策】 ①単元の導入部分で、前単元までに学習したことを振 り返し、新たに学習する内容との違いに気付かせる。中 学校で学習する内容につながるよう指導する。 ②デジタル教科書を活用し、視覚効果を生かして学習 を進める。拡大図と縮図に関する知識や図形のかき方 の既習事項の確認をおさえつつ、作図に取り組ませ る。 ③導入の視覚化を工夫し、問題場面を捉えやすくし、 必要な情報を考えさせるようにする。</p>	<p>【単元名】 1学期「物の燃え方と空気」 2学期「月の形と太陽」 3学期「水溶液の性質とはたらき」</p> <p>①体のほたらきでは、映像を活用すると共に、人体模 型も合わせて見せていくことで、体の部分についての 理解を深めさせていく。さらに臓器カードを使い、臓 器の名前とはたらきを覚えさせる。 ②気体検知管や検流計については、正確に使えるよう にさせる。既習の理科実験ガソコンロなどの使い方や 安全な使用方法も振り返りながら安全に仕わせる。 ③水溶液では、危険な液体を調べる際の注意点を 子供たち自身に考えさせることで、安全に活動するこ とを意識させる。 ④要因や規則性、関係を推論しながらグループ活動 を通して問題解決学習を行わせる。月の満ち欠けの学習 では、観察、ボールでの実験、映像を掛け合わせなが ら学習させることで、考えを深めさせていく。</p>

★改善のポイントは各学年の年間計画・週案簿に朱書きし、授業改善を行う。